

令和元年度事業報告

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

1 概況

令和2年度税制改正大綱では、「持続的な経済成長の実現に向け、オープンイノベーションの促進及び投資や賃上げを促すための税制上の措置を講ずるとともに、連結納税制度の抜本的な見直しを行う。さらに、経済社会の構造変化を踏まえ、全てのひとり親家庭の子どもに対する公平な税制を実現するとともに、NISA(少額投資非課税)制度の見直しを行う。このほか、国際課税制度の見直しや、所有者不明土地等に係る固定資産税の課税への対応、納税環境の整備等を行う。」とした各種の改正が行われました。

法人会は、「税のオピニオンリーダー」として、取り組まなければならない新たな制度の理解を深めるため、研修会等を実施してまいりました。

さらに、税に対する第一人者として、租税の理解に努め、中小企業の立場から望ましい税務知識の普及・啓蒙、税制・財政のあり方について調査研究を行い、税に関する研修会等を通じ、納税意識の高揚を図ってまいりました。

また、社会貢献活動を通じて、地域の振興に寄与し、未来を担う人材の育成を支援し、税制提言等の活動を通じて、地域の人々が安心して暮らせる社会づくりに貢献してまいりました。

2 主な実施事業の概要について

(1) 公益目的に資するための事業

イ 税を巡る諸環境の整備改善等を目的(税の啓発活動)とする事業

(イ) 研修相談事業

税務研修会

税知識の習得、我が国の税制の現状、税務・会計処理等について、全法連等の作成教材を活用して、国税当局担当官を講師に、各種研修会を開催しました。

- ・会社の決算・申告の実務、消費税軽減税率制度、自主点検チェックシート説明会
- ・新設法人説明会
- ・年末調整事務に関する研修会(商工会議所、商工会との協力)
- ・税務講演会 新名貴則氏「消費税8%・10%・軽減8% 複数税率への実務対応」

開催回数合計 13回 参加者数 819名

(ロ) 租税教育事業

A 租税教室

日本の未来を担う小学生に税の仕組みや大切さを教える租税教育活動は、極めて重要な活動と言えます。

鳥取県西部地区の19小学校におきまして、青年部会、東部支部、境港支部及び日野支部の役員、会員が講師を担当し、実施しました。

B 税に関する絵はがきコンクールの募集、展示及び表彰式の開催

鳥取県西部地区の各小学校に12月5日から1月21日までの間、作品募集のため女性部会の役員、会員が呼びかけたところ、26小学校から1,236点の応募がありました。

これらの作品の展示をホープタウンで、2月14日から3月11日までの約4週間行い、2月25日には優秀作品の表彰式を、ご家族をはじめ多くの方々に参加をいただき執り行いました。

さらに、多数応募をされました26の小学校には感謝状及び記念品を贈りました。

また、優秀作品等を掲載したカレンダーを作成配布しました。

C 租税教育事業研修会

全国青年の集い「大分大会」における、租税教育実施報告会に参加しました。

全国女性フォーラム「富山大会」における、税に関する絵はがき作品募集事業報告会に参加しました。

(ハ) 税制改正提言事業

全法連全国大会「三重大会」で採択・確認された令和2年度税制改正に関する提言を地元国会議員をはじめ、米子市及び境港市の市長及び市議会議長にその実現への取組みを提言しました。

なお、令和2年度税制改正スローガンは当法人会会報第85号に掲載しています。

(ニ) 広報事業

新しい税情報の提供、地域の情報等を取り入れ、皆様に読みやすく、企業の発展に寄与しようと年2回の会報誌を発行しています。

また、会員のほか一般市民にも各種事業の情報提供や国税庁ホームページ等とのリンク設定を行って、より広範囲な情報提供をすることによる正しい税知識の普及、適正かつ公平な申告納税制度の維持発展に寄与してきました。

さらに、公益社団法人としての社会貢献活動の紹介を通じて、「企業の社会的責任への取組み」を訴えより多くの企業に「法人会事業への理解と参加」を求めて活動してきました。

- ・会報「みずどり」 8月 84号 3月 85号 年2回
- ・全法連「ほうじん」春夏秋冬新年号 年4回
- ・県連「県連通信」1月 年1回
- ・税金クイズ・地域イベントに参加 せいぶの農と食まつり（クイズ応募数 873枚）
- ・ホームページ、メディアの利用による情報発信

また、税関見学・税金クイズを神戸税関境税関支署と米子税務署（「税を考える週間」協賛で実施）の協力により、神戸税関境税関支署米子空港事務所で小学生と保護者を対象に税金クイズを実施、入国検査の模擬体験も行いました。

ロ 地域社会の健全な発展及び社会貢献を目的（地域貢献活動）とする事業

地域企業の健全な発展に寄与することを念頭に、一般教養や幅広い視点に立った講演会、研修会及び企業見学などを開催しました。

(イ) 経営支援事業

（講演会・研修会）

- ・長谷川幸洋氏 「激動する世界 日本の針路を考える」

・松井忠三氏「無印良品は、仕組みが9割」

開催回数合計 2回 参加者数 167名

(企業見学)

・キューピー神戸工場、神戸ワイナリー

・株式会社ビック・ツール、和傘伝承館（境港支部、東部支部、日野支部）

開催回数合計 2回 参加者数 55名

(ロ) 社会貢献事業

企業の社会的責任への取組みや地域社会との共生を目指し、地域社会の健全な発展に寄与することを目的に会員の皆様とともに取り組みました。

A 古タオルの回収及び施設への寄贈

会員企業をはじめ鳥取、倉吉方面の方々の協力のもとに、古タオル類の回収を行い施設に寄贈しました。

介護老人福祉施設「大山やすらぎの里」、介護老人保健施設「小谷苑」、「はまなす」

古タオル類 段ボール 約110箱

B 環境整備事業

地域の環境整備を目的として、米子城跡にベンチを寄贈しました。

C 台風19号被災地復興支援 チャリティーゴルフコンペ

従来、東日本大震災の復興支援を目的としていましたが、令和元年度は、10月に発生し東北・関東地方を中心に甚大な被害をもたらした、台風19号被災地復興支援のため、鳥取県西部総合事務所を通じて168,000円を寄付しました。

(2) 会員の福利厚生や会員相互の親睦、交流等に関する事業

イ 福利厚生事業

会員の福利厚生に資することと、法人会財政の基盤確立に重要な事業である各種福利厚生制度の普及・推進を提携保険会社(大同生命保険、AIG損害保険及びアフラック生命保険)とともに取り組みました。

ロ 会員支援事業

多種多様な企業の団体という法人会の特色を生かした交流会を通じ、会員相互の交流の輪を広げることができました。

ハ 会員増強及び組織充実の活動

会員数の拡充は、組織強化のための重要な課題であり、新規会員獲得と退会防止に努め、法人会活動の活性化や事業の拡充に繋げていく必要があります。

令和2年3月31日現在 1,927社(前年1,927社) 前年比同数(加入52社 退会52社)

(3) 支部及び部会活動

イ 支部活動

法人会活性化には地元に着目した法人会という支部活動が重要であることは、当然で、各支部地域の活性化や役員会を通じた活動を行い、支部会員の交流に視点を置いた企業見学会、講演会、税務研修等や、米子税務署幹部による研修会を通じて、組織の充実を図ってきました。

支部別会員状況

令和2年3月31日現在

| 支 部 | 期 首 会 員 数 | 令 和 元 年 度 | | 現 在 会 員 数 |
|-----|-----------|-----------|-----|-----------|
| | | 加 入 | 退 会 | |
| 米 子 | 1,411 | 42 | 42 | 1,411 |
| 境 港 | 311 | 4 | 5 | 310 |
| 東 部 | 131 | 5 | 3 | 133 |
| 日 野 | 74 | 1 | 2 | 73 |
| 合 計 | 1,927 | 52 | 52 | 1,927 |

ロ 青年部会・女性部会

青年部会は会員企業の経営者及び法人会役員の後継者育成の場であるとともに、法人会活動推進の担い手として大きな役割を有しています。

女性部会は会員企業の女性経営者や幹部の自己啓発の場であるとともに、多様化する法人会活動の充実と活性化に努めてまいりました。

これらの部会は、小学生を対象とした租税教室、税に関する絵はがきコンクールをはじめ、古タオルの回収寄贈活動など、法人会活動の主要テーマである税の啓発・普及活動や社会貢献活動の中心的活動主体として、その役割を果たしてまいりました。

また、部会相互の「情報共有化」を図り、親睦と交流を深めてまいりました。

(4) 適時・的確な組織運営及び事務局運営

理事会を中心に適時、的確な委員会等の開催による組織運営とともに、事務運営において法令の遵守、相互監査による適正な処理に努めてまいりました。